

特集



聖隷浜松病院

新生児専用救急車 P-1

クラウド
ファンディング
挑戦中!



- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 新生児科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト 新生児蘇生法 (NCPR) インストラクター P-6

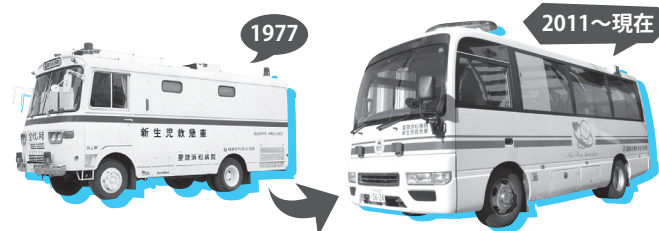
病院理念 私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

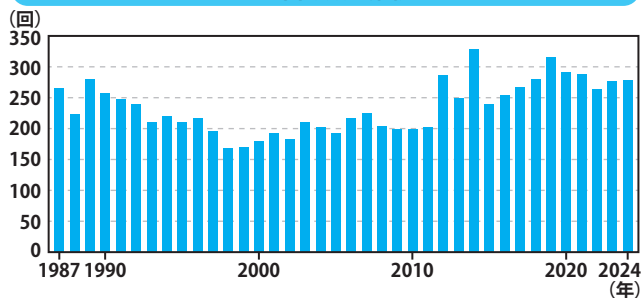
聖隷浜松病院 新生児専用 救急車



出 生する赤ちゃんの5%に蘇生が必要であることは一般的に知られていません。赤ちゃんの臓器の機能は大人と異なり、とても脆弱です。そのため、生まれたばかりの赤ちゃんの命を救うには、1分1秒を争う必要があります。

この大切な使命を担っているのが、新生児専用救急車〔New Born Ambulance (NBA)〕です。当院では1977年、全国に先駆けてNBAの運用を開始し、以来45年以上にわたり静岡県西部地域の新生児医療の最前線で活動を続けています。

NBA出動数の推移



N BAには、赤ちゃんを保温するための保育器や赤ちゃん専用の人工呼吸器をはじめ、呼吸や心拍を観察するモニター、点滴ポンプなど、多くの専門医療機器が搭載されています。これらの機器を駆使し、NICU（新生児集中治療室）で働く新生児科医師と看護師、専門ドライバーが一丸となって、赤ちゃんのもとへ駆けつけています。



当 院は、県西部の総合周産期母子医療センターとして、NICUを21床、GCU（新生児回復室）を18床備えており、年間約250-300件の出動要請に応え、先天性疾患のある赤ちゃん、分娩中に異常が見られた赤ちゃんなどを24時間体制で受け入れています。



ご寄附の方法

当院「新生児専用救急車」更新への支援をご検討いただける皆様へ、ご寄附の方法についてご案内いたします。

インターネットからお願いいたします

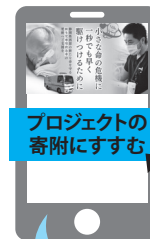
WEBサイトにアクセスいただき、

- ☒ クレジットカード ☒ コンビニ支払い
☒ 銀行振込 でお支払いください。

▼詳細はこちら



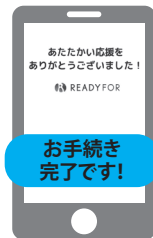
- 返礼品のコースをお選びいただけます。
- 応援コメントも投稿できます。
- クレジットカードの場合、振込手数料はかかりません。
- READYFORのアカウント作成にメールアドレスが必要です。



プロジェクトの
寄附にすむ

パソコンからでも
操作方法是
同様です

- 1 プロジェクトの寄附にすむ
- 2 希望のコースと個数を選択
- 3 はじめて利用する方は新規登録へ
- 4 メールアドレスで登録
- 5 支払い方法を選択
- 6 必要情報を入力
- 7 ギフトのお届け先を入力
- 8 入力内容を最終確認し、寄附を確定



お手続き
完了です!

▶ 問い合わせ... E-mail hm-seihamacrofun@sis.seirei.or.jp
TEL 053-474-2222 (代表)

READYFOR 聖隷浜松病院 レディーフォー

今月のことば

色: 実りの秋

9月になっても続く酷暑。授乳中のお母さんも、これからお母さんになる方も、秋の実りで二人分の栄養チャージ! かわいい笑みが待っています。

N BAの存在により、県西部地域のどこで出生されても、救急搬送に向かえる体制が整っています。「どの命も等しく尊い」とい

う理念のもと、すべての赤ちゃんに高度な医療機会を提供し、私たち医療者の使命を果たすために欠かせない存在がNBAなのです。しかし、15万kmを越える走行距離、修理回数も増え老朽化が進んでいます。重要な役割を今後とも継続して果たすためには、新しい車両の購入が急務となっています。そこで私たちはご寄附(クラウドファンディング)による新しいNBAの購入を計画しました。

静岡県西部地域の周産期医療

- 聖隷浜松病院
総合周産期
母子医療センター
- 地域
周産期センター
- 総合病院
- 産科クリニック



「小あす
さな命を未来へつなぐ」という想いを胸に、地域の新生児医療を支え続けたいと考えています。これからもずっと県西部地域の赤ちゃんを守り続けられるように、地域の皆様からのご支援をお願いいたします。

文責: 新生児科 部長 杉浦 弘

ご寄附(クラウドファンディング)については次のページ ▶

新生児科

大切な赤ちゃんを守る医療



新生児科は静岡県西部地域の総合周産期母子医療センターとして在胎22-27週の超早産の赤ちゃん、心臓や腸などの手術を必要とする赤ちゃんの周術期治療を行っている、赤ちゃんにとって最後の砦となる診療科です。普段は新生児集中治療室(NICU)で高度な集中治療の提供を行い、時には救命が必要な赤ちゃんが出生した分娩施設からの依頼を受けて、当院が所有する新生児専用救急車で駆けつけています。年間入院数は約580例、搬送数は約280例になり、産科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科などと連携をしています。

出生した赤ちゃんの5%が蘇生を必要とすることは一般的には知られていませんが、県西部地域の赤ちゃんを守るために24時間体制で診療を行っています。

文責：新生児科 部長 杉浦 弘(写真後列右から3番目)



新生児蘇生法 (NCPR) インストラクター

生まれた赤ちゃんを助けます!



赤ちゃんは産声をあげることによって肺呼吸を開始します。しかし、産声をあげられない仮死状態の赤ちゃんや、呼吸が十分に機能しない赤ちゃんが出生されることがあります。そのような場合、適切な人工呼吸や心臓マッサージなどの新生児蘇生が必要になります。

新生児蘇生法インストラクターはすべての分娩に、蘇生に習熟したスタッフが立ち会うことできるようにサポートしています。当院には医師6名、看護師2名、助産師5名のインストラクターが在籍し、定期的な講習会の開催によって院内スタッフの新生児蘇生技術の取得、維持に努めています。インストラクターの活動は、医療の質を高めるだけでなく、未来を担う命を守る大切な役割を担っています。



文責：新生児科 中島 秀幸(写真左)、杉浦 弘

聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ

紹介状をお持ちください

当院は紹介受診重点医療機関です。症状がある場合は、**まずかかりつけ医に受診・相談**をしてください。当院では診療の状況により、当日受診など受け入れできない場合があります。他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る**選定療養費として7,700円(税込)**を別途負担いただいています。紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。患者さんから予約する場合は、診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ **地域医療連絡室(JUNC)** ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ

予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ **外来受付センター** ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、**紹介状は不要**です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ **産科外来(直通)** ☎053-474-3067

(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ

現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中央区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明